



生きものの“つぶやき”:

**「みんなでこそこそ話…って僕しか話してない？」**

エッセイ:

「三人寄れば文殊の知恵」ということわざのように三匹でお話をしている…と思いきや本物のカエルは一匹だけ。もしかして次の合唱の打ち合わせをしているつもりだったのでしょうか？この写真を撮影した須々万本郷には水田がたくさんあり、毎年夏になると色々な種類のカエルが鳴いています。散歩をするとアマガエル、ヒキガエル、ツチガエルとたくさんのカエルが草むらから飛び出てきます。じいっと田んぼを観ているとオタマジャクシがちらほら。黒くて可愛らしい姿が、なんだか音符みたいです。今年の合唱もそろそろ大詰め、どんなフィナーレにするのかな？私も話し合いに混ざって！と近づくとびょーんと跳んで逃げられてしまいました。残念。(298字)

### 生きものの紹介：

ニホンアマガエル(アマガエル科)

東アジア全域に分布しており、日本にも多く生息している。周辺の色に合わせて体表の色を変化させることができ、緑色や茶褐色、灰褐色のものがよく見られる。

極稀に色素欠乏により水色や黄色、白色になる個体もいる。

皮膚粘液には弱い毒があるため、アマガエルを触った手で粘膜に触れないように注意が必要。

### 撮影場所・日時：

山口県周南市須々万本郷 2024年8月11日

### 応募者の自己紹介：

1. 氏名：望月 美優
2. 高校・学年：お茶の水女子大学附属高等学校・1年
3. 所属：新聞部

### 審査員からのコメント：

壁面に反射したカエルを話し相手に見立てたアイデアが面白い。

とても面白い写真でした。

シミ?のような跡が気になる。

そう見えているのかもしれませんが。

もう最高です。